

## 飯田地域における麻疹予防対策の現状と課題 —ドキュメント 麻疹ウイルス侵入に対する「山際作戦」—

久田小児科医院 久田俊和

### 【はじめに】

今年、都市部を中心に6年ぶりの麻疹の流行がみられた。ワクチンの接種率が高い飯田下伊那地域では、麻疹ウイルスは常在しない。従って過去の当地域への麻疹ウイルスの侵入は、帰省者を契機にすることが多かった。今回、飯田医師会として、ゴールデンウィークの後半の5月1日から6月一杯まで、地域と協力して麻疹ウイルス侵入に対する予防対策「山際作戦（水際作戦という言葉はあるが、飯田に海はないので“山際作戦”と名付けた）」を行った。そこで、飯田医師会で行ったこの麻疹予防対策の経験をドキュメント風に紹介し、任を果たしたい。

### 【対応経過】

#### 対応の契機：

5月1日 飯田医師会理事（予防接種委員長）の私に飯田市立病院小児科より電話。連休で麻疹が侵入する危険があるので、一般住民や医師会員に「麻疹発生注意報」みたいなものが出せないだろうかとの依頼。医師会長と相談し、麻疹予防対策の開始を決定。

#### 住民対応：

5月1日 住民向けの「医療機関よりのお願い」作成、印刷開始。  
5月2日 医師会員に、「麻疹の流行に伴う市町村から地域住民への広報での周知について」をFAX。  
午後 医療機関：予防ポスター掲示の開始。  
市町村：有線放送、CATVなどを通じて市町村広報開始。

#### 医療機関対応：

5月2日 小児科談話会メーリングリスト(小児科ML)を通じ、市立病院の「麻疹流行に対する警戒と対策」を配布。  
当番医などでトリアージ体制開始。  
**1号患者（21歳、女性）が市内の医院を受診（5月5日麻疹と診断）**  
5月5日 小児科MLで情報共有。  
5月6日 **2号患者（18歳男性）が輪番病院を受診。（5月8日麻疹と診断）。**  
5月7日 1号患者に関する情報を医師会員にFAX。

- 5月9日 2号患者に関する情報を医師会員にFAX。  
5月11日 「麻疹流行に対する警戒と対策」を医師会員に送付。

#### 学校への対応：

- 5月17日 医師会から学童の麻疹対策について、各校医、教育委員会に依頼。  
(修学旅行、社会見学、臨海学習などの集団校外行事に伴う麻疹予防対策)  
飯田市教育委員会に、学校別の集団校外行事一覧表の作成を依頼。
- 5月18日 報告された小中学校の集団校外行事一覧表から、対策が必要な学校を抽出  
学校医および教育委員会に対応を依頼。  
保健所と協力して郡部小中学校、県立高校の集団校外行事情報を収集開始。
- 5月19日 郡部の小中学校の集団校外行事一覧表を入手。対応開始。  
**3号患者(25歳男性)発生。**
- 5月21日 教員対策開始(教育実習生、若手教員へのワクチン接種)。
- 5月29日 保健所に4号患者(8歳男性)発生の届出。(疫学所見、症状、検査所見、  
などから、麻疹の確診できず。公表を控えた。)  
当該の小中学校に校医を通して当面の予防措置を連絡(参考文献：竜ヶ崎保健所の「保育所・幼稚園・学校等における麻疹患者発生時の対応マニュアル」)。  
校長名で「本校児童に麻疹(はしか)の可能性のある患者発生のお知らせ  
と対応のお願い」の文書が保護者あてに出された。
- 6月6日 6月2日から3日にかけて、高校総体が、県内各地で行なわれたとの情報。  
「高校総体活動に伴う飯伊地域への麻疹侵入注意報」を関係機関に送付。

#### MR ワクチン供給不足対応：

- 5月24日 MRワクチンの供給不足が予想されるため、医師会長と予防接種委員会  
副委員長と相談し、8～9月に予定していたMR第2期の実施を、ワクチ  
ンの安定供給がはかれるまで延期することを決定。自治体へ即日通知。
- 5月29日 飯田地域でMRワクチンの供給不足の事態発生。  
1歳～2歳未満児への接種を優先することを決定。医師会員に通知。

#### 課題の解決への活動：

- 5月29日 飯田市と医師会との会合。ワクチン未接種者対策として次の2点を要望。  
1. 高校卒業記念に麻疹ワクチンのプレゼントを！！  
2. 中学入学記念に麻疹ワクチンのプレゼントを！！
- 5月31日 前述の集団学校行事調査に関連して、麻疹ワクチンの接種状況調査結果  
入手(1校分)。6年生で、10%程度の未接種者がいることが判明。

- 6月1日 医師会長と相談し、飯田下伊那地域の全児童生徒の麻疹ワクチン接種状況調査を決定。医師会員、教育委員会あてに「麻疹未罹患でかつ麻疹ワクチン未接種者の調査および接種勧奨について」として FAX。  
医師会長と高校養護教諭の懇談会の席で、高校の全面的協力を得られる。同日、小中学校の養護教員の集まりで、飯田地域の校長会保健衛生担当校長を通して全校に周知していただいた。  
調査の期限は6月15日とした。
- 6月4日 麻疹予防ポスターの作製と配布（1歳未満児の親対象、不要不急の流行地への旅行の自粛、MR ワクチンの接種の勧奨）。
- 6月5日 医師会を通じ、厚労省通達「麻疹ワクチンおよび MR ワクチンの定期接種の実施の確保等について」と「麻疹の抗体検査キットの供給について」「麻疹に関する Q&A」配布。
- 6月11日 医師会長と相談し、医師会学校医委員会と協力して、「学校から麻疹未接種者をなくすプロジェクト」立ち上げ。臨時メーリングリストの立ち上げ。
- 6月13日 医師会員にプロジェクトの発足通知を配布。  
飯田市議会でプロジェクトに関する前向きな質問。
- 6月21日 麻疹未罹患でかつ麻疹ワクチン未接種者の調査結果の速報集計（表1）  
（6%、1,258人の麻疹未罹患、麻疹ワクチン未接種者あり）  
市町村長と飯田医師会との会合。「高校卒業記念、中学入学記念にMR ワクチンのプレゼントを！！」を提案。
- 6月22日 地元新聞に前日の会議の内容が大きく掲載。

この「山際作戦」はまだ進行形であるが、プレゼントは実現する予感がしている。

### 【おわりに】

今回、私が飯田医師会理事（予防接種委員長）として経験した、飯田地域の麻疹対策の経過をドキュメント風に紹介した。地域住民の感染拡大を予防するためには、他の感染症も同じであるが、必要な時期に必要な介入を行うことが必須である。行政からの指示は、時機を失している場合もある。飯田地域のように、外部との交流が比較的少ない地域では、感染症予防としては、地域への侵入を防ぐ手立てが最も大切となる。今回飯田医師会が行った地域への多面的な予防対応は、地域での麻疹患者の発生が4人に限定できたという結果からして、成功であったと判断して良いと考えている。

今回の対応に当って、医療現場以外の関係者から若干の反対意見があった。医療現場以外の関係者は、時間的に限られた期間に調査を実施することを求められたことなどがあり、調査や今回の対応の全体像、意義や必要性について必ずしも十分に理解が得られていないことに起因するものであったかもしれない。日頃から、保健所などと協力して、こうした関係者間の認識の共有を図ることが必要であると考えた。

表1. 飯田地域における麻疹ワクチン接種状況調査結果（平成19年6月）

学年	在籍者数	既接種者	罹患者	未罹患未接種者* (% : 未罹患未接種者/在籍者数)
小学校1年生	1,690	1,652	13	27 (1.6%)
小学校2年生	1,749	1,702	23	29 (1.7%)
小学校3年生	1,719	1,672	17	34 (2.0%)
小学校4年生	1,694	1,619	15	63 (3.7%)
小学校5年生	1,678	1,589	34	66 (3.9%)
小学校6年生	1,710	1,576	52	81 (4.7%)
中学校1年生	1,856	1,675	65	127 (6.8%)
中学校2年生	1,792	1,595	58	154 (8.6%)
中学校3年生	1,902	1,676	79	165 (8.7%)
高校1年生	1,743	1,489	67	155 (8.9%)
高校2年生	1,707	1,424	71	168 (9.8%)
高校3年生	1,661	1,366	91	189 (11.4%)
合計	20,901	19,035	591	1,258 (6.0%)

\* : 不明者を含む